

コアゼテンツキ	<i>Fimbristylis aestivalis</i> (Retz.) Vahl	絶滅危惧Ⅱ類
		カヤツリグサ科
選定理由	分布域の多くは生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村長昭義)
形態の特徴	1年草。茎は細く、高さ8-10cm。花序は1-3回分枝し、小穂は卵形。茶褐色を帯びる。	
生態的特徴	田の畦や休耕田などにはえる。	 
分布状況	本州に分布する。県南中部に分布するが、県北部にも生育地がある。	
減少要因	水田に使用される農薬および水田の乾田化。	
保全対策	水稲耕作における農薬の使用量をできるだけ低くする。湿潤な水辺の環境を保持する。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成